

危機の世紀

ウクライナ危機や地球温暖化、21世紀に入ってから、世界の秩序や持続可能性を脅かす問題に我々は直面し続けています。ロシアによるウクライナ侵攻は「長い20世紀」に終わりを告げるものとなるのでしょうか。17世紀や15世紀、14世紀もまた今世紀と同じく、全球規模で環境危機が顕在化した時代でした。これらの世紀に人間社会は自然環境といかなる関係を構築し、その関係はどのように変動したのでしょうか。

本シンポジウムは、過去の世界史上の危機を世紀という時間軸で考える試みです。マイクロストリアでも、グローバル・ヒストリーでもない、「世紀」という時間のなかで、歴史事象の持続性とその意味を思考します。



司会 村上智見 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 特任助教

開会挨拶 13:00 ~ 13:05 行松泰弘 北海道大学理事(事務・広報・社会連携統括)

報告1 13:05 ~ 13:45 「14世紀の危機の語り方」 諫早庸一 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 特任准教授



報告2 13:50 ~ 14:30 「15世紀の危機と17世紀の危機—東アジアを中心に」 中島楽章 九州大学人文科学研究院 准教授



報告3 14:35 ~ 15:15 「長い20世紀の終焉」 長縄宣博 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター / 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授



総合討論 15:25 ~ 15:55 ディスカッション 岡美穂子 東京大学史料編纂所 准教授



閉会挨拶 15:55 ~ 16:00 野町素己 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター センター長

主催 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター (SRC)

共催 国立大学附置研究所・センター会議 第3部会

お問合せ yoichi.isahaya@slav.hokudai.ac.jp (担当: 諫早)

開催日時

2023年10月13日(金) 13:00 ~ 16:00

会場

全面オンライン配信 (事前登録制 / 登録無料)

参加登録はこちらから
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_2hyukxqrSV6gqbFFsgQTOQ



【登録締切】2023年10月12日正午

※本シンポジウムは「Zoom(ウェビナー)」を使用したオンライン会議です。
※上記の参加登録URLまたは二次元コードからご登録ください。
後日、Zoom会議への接続アドレスとパスワードをお送りいたします。
※Zoomでの動画視聴が可能な方であれば、どなたでもご参加いただけます。
※参加いただくには、インターネット接続環境があるパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要です
※インターネット回線を利用した通信のためインターネット接続料が発生します。
Wi-Fi環境以外での参加にあたっては、通信料にご注意ください。